

# 嵐山町奨学資金貸付制度のご案内

町では、有用な人材育成を図ることを目的に、経済上の理由により高校、大学、高等専門学校、専修学校への就学が困難な方に対し、無利息で奨学資金を貸付けしています。

これは、資金を在学中に貸付け、卒業後、計画をたてて返還していただくものです。奨学資金の種類、貸付金額は次のとおりです。

## 普通奨学資金

高校	年額18万円以内
大学	年額36万円以内
大学（薬学部）	年額60万円以内
大学（医学部、歯学部）	年額120万円以内
高等専門学校	年額24万円以内
専修学校	年額20万円以内

## 特別奨学資金（入学金に充てるもの）

必要な方は、こども課までご相談ください。

なお、貸付けを希望される方は、奨学資金貸与申請書等（こども課にあります。）を**9月28日**（金）までに提出してください。

問合せ 教育委員会 こども課 学校教育担当 ☎62-0823



## 千手堂二区

区長 山下 修二

こんにちは、千手堂二区です。私達の区は昭和54年、国道254嵐山バイパス開通に伴い地区が二分された為、千手堂の分家の如く千手堂二区として、町内28番目の行政区として誕生しました。昨年、区誕生30周年併せて集会所建設20周年、まさに二重三重の喜びの式典を町長、教育長、ご列席の元、紅白幕に囲まれた集会所で盛大に行いました。

私達の区は他区に自慢できる物も、神社も、お祭りも有りません。唯一誇れる事は、コミュニティケイションの良さです。年5回の美化運動には毎回100名程が参加し



ます。特にバイパス沿いの空き地を町の同意を受け、区内有志が力を合わせて花壇や敷石等で整備し、行き交う人々に楽しんで頂いています。

又、ゴミのポイ捨て等も減少し、居住環境美化の重要性を再認識しています。

老人会や子供会の活動は大変活発で、恒例の区民ハイキングには5歳児から75歳のお年寄りも含め、総勢50名が助け合い、励ましながら楽しい一日を過ごします。

昨年、区の将来を担う若手を中心に、区民クラブ「川枝野球部」が再結成されました。練習を重ね、いつの日か町の大会で優勝できる日を夢見て、区民一体となって応援しています。

## 志賀一区

我が故郷 区長 内田 方巳

蛸舞う自然環境と、市街化地域が融合し生活する街志賀一区を紹介いたします。昔、志賀村は「四家村」と呼ばれ四つの地区の代表が村を支えていたことから村名が付いたと言われていた。県道に沿って南西と北東の両側を山に囲まれ細長く民家が点在し、冬は赤城おろしの北風が吹きぬけ、火災が発生すると民家をなめつくす様な大火に幾度となく見舞われたと伝え聞きます。また小さな宿場であったため、その名残でお互いを屋号で呼び合う習慣があり（新規転入者には分かりづらいようですが）、今でも同姓の多い地区のため姓名を言われるより屋号で呼び合う事が常識となっています。

志賀地区内では、1965年から団地造成が始まり、その後、区画整理事業等によって人口も増加し行政区も志賀二区、志賀三区（現在のむさし台の一部）へと三分割され、住宅街と農村地域が共存し



た地区に発展しました。人口の増加に伴い、地域で抱える課題も多様化しましたが「安全・安心のまちづくり」に向けて、区民皆理解し合い協力し生活しております。

農道は緑豊かな散歩道、歴史ある村の鎮守様、神社にまつわる様々な行事の伝承等、新旧の住民が溶け合って共存しております。

つい先日ボランティアグループで地区中央を流れる志賀沢川の清掃を行いました。この川には上流に蛸が生息しており、今年も七月始め蛸の飛び交うのを確認いたしました。このような豊かな自然を保つことが出来るのも、地域の皆様協力のおかげと喜んでおります。近々堂沼公園も完成します。水と緑に囲まれた歴史と文化を持つ志賀一区で生活できる事を誇りに思います。



先日行われたイベントごちびーあに新メンバーを加え、初のステージをさせていただきました。こども緊張したようでしたが楽しいステージになりました。応援ありがとうございました。そして、嵐山夏まつりがやってきます。Pieace・ちびーあ・フチピースそれぞれ練習も頑張ってきました。お時間ありましたら、ぜひ子どもたちの頑張っている姿を見に来てください。



- 今日の予定
- 8月4日（土）嵐山夏まつり
  - 8月11日（土）鎌形夏祭り
  - 8月25日（土）夕市
- Pieace プロジェクト